

「富山プロダクツ選定事業」は県内で企画、製造される性能、品質及びデザイン性に優れた工業製品を「富山プロダクツ」として選定し、その販路拡大を支援するプロジェクトです。今年度も去る8月末に選定委員会を開催し、審査を経て県内16社、23点の工業製品が新たに選定されました。



富山プロダクツ —とやまのいいモノ、集めました—

“デザイン県・富山”としての認知を定着させ、地元が誇れるブランドへ。



≫ コロナ禍で新商品続々と

全国で新型コロナウイルス感染症が猛威を振った2020年。全国的に製造業界全体が大きな影響を受ける中、今年も多くのエントリーをいただき、23点の新・富山プロダクツを選定することができました。今年の選定企業のうち、半数以上が初めて申請いただいた企業で、その製品もおりんやカトラリーから家具や自動車まで、多彩なラインナップとなっています。

また今までになかったジャンルの工業製品(革製品、理容用品など)や産地(氷見市、射水市など)からの申請も多く、“デザイン県・富山”の新たな可能性を実感することができました。

≫ いか「富山プロダクツ」ブランド力を高めていか

事業開始から20年目を迎えるにあたり、今一度ブランドの魅せ方を見直す必要があると考えています。事業を継続することで製造業界内では一定の理解を得ることができましたが、一般の方においては県内であってもまだ認知度が低いというのが現状です。地元の方が地元の優れた工業製品を知り、消費し、発信していく。デザインの地産地消を実現し、県民が誇りに思えるブランドづくりを推進します。

キーワードは「家」。長い時間を経て、今までに選定された工業製品は350点を超え、そのジャンルは多岐にわたります。家に必要なモノをほぼ全て地元で揃えることができ、他県には類を見ない製品群だと考えています。

